

「 確かな学力の定着・向上を目指した授業改善の工夫 」
～ 自主学習の質的向上を目指して ～

I 研究の内容

1 本年度の研究の重点

「確かな学力の定着・向上を目指した授業改善の工夫～自主学習の質的向上を目指して～」を研究主題として校内研究を進めてきた。前年度まで、確かな学力を育成するために、「やまなしスタンダード」の視点を積極的に取り入れ、授業の中に生徒が思考し表現する場面を設定し、自らの力で解決する能力と態度を養う授業、また、言語の能力は子どもたちが他者や社会と関わる上で必要な力であることを踏まえ、言語力の育成や活用を意識し、生徒に考えさせる発問や教材等について日々の授業実践を通して研究を進めてきた。今年度は、これまで研究の主な対象になってきた授業と生徒自らが自主的主体的に学ぶ機会とを有機的につながるような自主学習の取り組み方を研究対象の柱とし、日常的に行っている自主学習の質的向上を目指した研究を行った。

2 研究部会

(1) 全体会

- ①自主学習に対する本校の実態を把握し共有する。
- ②Attention Relevant Confidence Satisfaction の4観点から学習に対する動機付けを喚起する具体的なアプローチについて研究した。
- ③以下(2)(3)の研究部会においても①②の視点で研究した。

(2) 教科別研究会

- ①「確かな学力の向上」を目指した授業づくり・授業改善
- ②「やまなしスタンダード」を取り入れた授業づくり・授業改善

(3) 学年別研究会

- ①Q-U検査の分析→個への対応、集団づくり
- ②家庭学習の定着を図る→「自主学習ノート」の取り組み、家庭学習チェック表

(4) 授業研究

全教職員が同じ視点で授業を観察するために、授業者には次の2つについて、事前に示してもらった。

ア 「やまなしスタンダード」授業づくり7つの視点から、本時は特に何を意識した授業なのか。

イ 「主体的な学び、対話的な学び、深い学び」の中から、本時は特に何を意識した授業なのか。

◇保健体育 1年3,4組 10月16日(水)実施
単元名 「体づくり運動 体力を高める運動
(動きを持続する能力を高める運動)」

授業者 森脇 雅人 教諭

ア) ②話し合い, 討論, 発表などの言語活動を効果的に取り入れる。

イ) 対話的な学び

◇道徳 3年4組 11月13日(水)実施

主題名 人間愛

内容項目 B-(6) 思いやり, 感謝

教材名 いのちの輝き ―ハンセン病救済に生涯をかけた女医―
(山梨県道徳教育用郷土資料集 一部改訂)

授業者 佐藤 彩奈 教諭

ア) ②話し合い, 討論, 発表などの言語活動を効果的に取り入れる。

イ) 対話的な学び

◇道徳 1年3組 1月22日(水)実施

主題名 困難を乗り越え挑戦し続ける

内容項目 A 希望と勇気, 克己と強い意志

教材名 夢への挑戦「パラカヌー」

授業者 森脇 雅人 教諭

ア) ②話し合い, 討論, 発表などの言語活動を効果的に取り入れる。

イ) 対話的な学び

(4) 学習会

◇道徳科授業の教科書活用について

講師 峡東教育事務所 指導主事 中村英彦 先生

II 成果と課題

1 成果

- ・「授業者だけの研究授業であってはならない」を合言葉に, 全職員が同じ視点で授業を見つめ, 成果や課題をより具体的に把握・共有することができた。
- ・道徳科の授業における教科書などの教材の見方を具体的に学ぶことができた。
- ・自主学習における本校の現状を把握し, 自主学習の取り組み方を質的に高めるための多角的な研究ができた。

2 課題

- ・成果として得たものを実践的に, かつ, 具体的な手段として明確にする必要がある。

(研究主任 平井 成二)